

# 防災士の基本理念

防災士とは“自助”“共助”“協働”を原則として、  
社会の様々な場で防災力を高める活動が期待され、  
そのための十分な意識と一定の知識・技能を修得したことを、  
日本防災士機構が認証した人です。

1. 自助－自分の命は自分で守る。
2. 共助－地域・職場で助け合い、被害拡大を防ぐ。
3. 協働－市民、企業、自治体、防災機関等が協力して活動する。



日本防災士会  
新潟県支部

# 新潟県支部の活動方針

1. 幅広い防災啓発活動を通じて、「**災害で命を失うことの無い地域社会**」の実現に努めます。
2. 自治体、学術機関、防災関連団体と連携し、地域防災力の向上と**人材の育成**を図ります。  
新潟県・県社協・NHK・新潟大学災害復興科学研究所
3. 災害時には、**関連団体と「協働」で被災地支援災害ボランティア活動**をいたします。

新潟県の有資格者  
7,943名  
日本防災士本部  
正会員の230名  
で活動しています

# 日本防災士会(本部)

## 新潟県支部

R7年度  
新設部

学校防災  
教育部

被災地  
支援部

インクルー  
シブ防災部

災害食部  
ペット防災部  
ちびっこぼうさい部

学校防災、防災啓発、災ボラなど様々なご依頼に対応

# 繋がり概念図

友好団体

中越防災  
安全推進  
機構

中越市民  
安全士会

日本  
赤十字  
新潟支社

にいがた  
災害ボラ  
ンティア  
ネット  
ワーク

**R1年度**  
新潟県災害ボランティア調整会議構成団体  
災害時のボランティア活動連携  
災害ボランティアコーディネーター養成講座  
災害時要支援者  
市町村社協との連携

新潟県支部設立母体団体  
中越地区活動拠点  
NPOの団体会員

各種講演会の紹介  
防災士試験時の座学  
情報・人材育成の共有

柏崎市障害者福祉団体  
NPOの団体会員  
会員の相互加入

全国の災害ボラ活動  
防災啓発活動の情報共有  
李仁鉄代表との関係強化  
団体会員に登録

新潟県  
社会福祉  
協議会

NPO  
セーフティ  
ネット  
ぼうさい

NPO  
トライ  
ネット

NPO  
うおぬま  
防災ネット  
ワーク

一社)  
南魚沼防  
災活動セ  
ンター

小千谷  
防災会

防災情報、被災情報、災害時の  
画像提供などの協定締結済み  
防災士の情報発信  
先端技術

NHK  
新潟放  
送局

新潟  
県

**R2年度**「防災・減災啓発活動に関する協定」締結済み  
新潟県マイ・タイムライン教室  
新潟県防災ナビ  
防災教育Switch  
防災リーダー

新潟大学  
災害・復興  
科学研究所

**R3年度**

「地域の防減災・人材育成に関する協定」締結済み  
学術・知識の習得  
学校防災教育  
新潟県生徒会連盟との共有の繋がり

**R3年度**

新潟県  
建築士会

応急危険度判定  
耐震診断  
防火構造  
災害支援  
まちづくり

**R4年度**

新潟県  
獣医師会

災害支援  
避難所運営  
ペット防災啓発  
災害時の同行避難  
ズーノーシズ(人獣共通感染症)対策

**R7年8月協定**

**R7年度**

防災啓発活動の情報共有  
会員の相互加入  
防災学習・啓発イベントの共催

● 連携協定  
締結済み

● 情報共有・相互加入  
している団体

新潟県  
生徒会  
連盟

**R6年度**

まなぼ～れ★防災



# 地域イベント で防災啓発

防災士との「連携」と「協働」  
で地域イベントを楽しく





寺山公園フェス(防災士＋生徒会連盟＋ガールスカウト)

# 新潟県スポーツ公園フェスタ&防災フェアに出展



防災士会ブース全景(全長60m)

ネットワーク

「防災」は、

フットワーク

まなぼ～れ★防災



# 新潟地震を プロジェクト 風化させないPJ

防災イベントや防災学習  
を通じて**伝承の普及啓発**



ぼうさいこくたいブース出展  
新潟地震を風化させないプロジェクト  
近藤武夫氏の地震写真展示  
61年前南万代小地震版画  
液状化実験



# 近藤 武夫 氏 アマチュアカメラマン

新潟地震 昭和39年6月16日

新潟地震 昭和39年(1964)6月16日  
私の記録と記憶Ⅱ写真展

入場無料



開催期間 令和6年6月1日(土)～6月6日(木)(4日間)

\*但し 6月3日と4日は会館休館日のため展示会はお休みです

開催時間 AM9:00～PM5:00(初日はAM10:30から・最終日はPM4:00)

会場 新潟県民会館1階展示コーナー  
新潟市中央区1番堀通町3-13

主催者 近藤 武夫  
新潟市中央区上所中1-7-10  
連絡先 ☎ 090-2426-9090



写真提供: アマチュアカメラマン 近藤武夫氏



中央区横七番町付近

撮影2023.07.10

写真提供: アマチュアカメラマン 近藤武夫氏

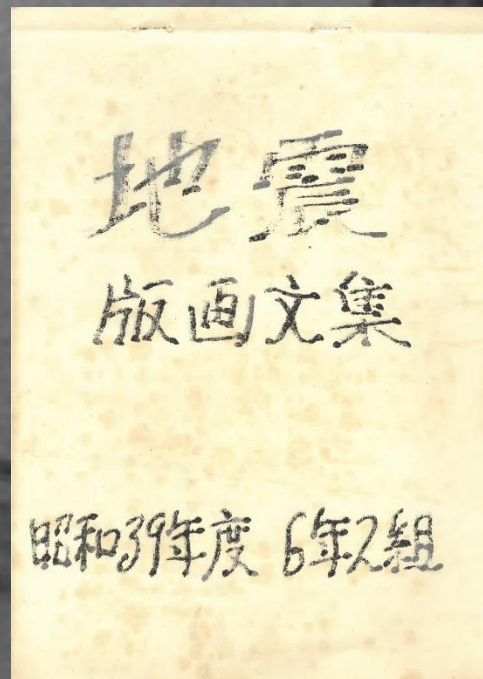


萬代橋東詰

撮影2023.07.16

# 新潟地震 版画文集

昭和39年度 6年2組



液状化現象によって沈下した南万代小学校。  
大きな建物までも沈んでしまう地震の威力を  
見せつけられた＝1964年6月16日16時  
ごろ、新潟市中央区幸西（佐藤康行さん撮影）

### 3. にげろ!!!

阿部 裕子



「べらべら」とゆれ、家をこわし道路をどろ水の海にさせた地震。

赤ちゃんも、おばあさんも、おじいさんも、みんなあわててにげてくる。  
「きゃあ、きゃあ。」「わあわあ。」「というさけび声。」

おかあさんにはぐれ 目を赤くしてないている 女の子。  
みんなひつしに逃げている。

出前の途中の「ぞうさん、 買い物帰りのおねえさん  
赤ちゃんをおんぶし、両手に荷物をいっぱい持つてる。 おばさん。  
どこへ行くのだろう。」

あてもなく「火」「水」「津波」に、おわれて逃げて行く。

今日の夜、どこでねられるかもわからず、どろにまみれ 逃げて行く。

一年生の先生も 生徒を自分の子のように、だき、おんぶし 逃げていく。  
わたしは、あの日のことを、思いだすだけでぞつとする。

もう二度と、「地震」というものが、こないように、わたしは思う。



昭和三十九年、六月十六日、午後一時二分、とつぜん「グラ、グラグラ、」と、大きくゆれた。ぼくは、はじめ「なんだろう。」と思った。

そしたらみんなが、「地震だあ、」と、大声で、さげんだ。ぼくは、びっくりして、外へ飛び出した。

あつという間に、ガス、水道、電気がみんな、めちゃめちゃになってしまった。

けど、だんだん、工事が進み、ガス、水道、電気、が使えるようになった。

けど、ぼくたちの、アパートは、今だに、共同水道です。

ほかの所は、みんな、使えるようになったのに、なんで、ぼくたちのアパートだけ、水道がはいらないのか、ふしぎで、しょうがない。

おかあさんは、「わざわざ、階段を、降りて、おもい水を運ぶのは、らくな、仕事ではない。」と、ぐちをこぼしている。

ぼくも、たいてい、水くみをする。すると、アパートの、おかあさんがたが、「神田君、いっしょうけんめいだね。」といつも、声をかけられる。

ちかく、こんど、一けん、一けん、水道がつくそうです。それで、今は、水道工事の準備で、いっしょうけんめいです。

水道がつくと、おかあさんは、ものすごくうれしいと思います。

経験と教訓を

次世代へ伝承

「防災」は

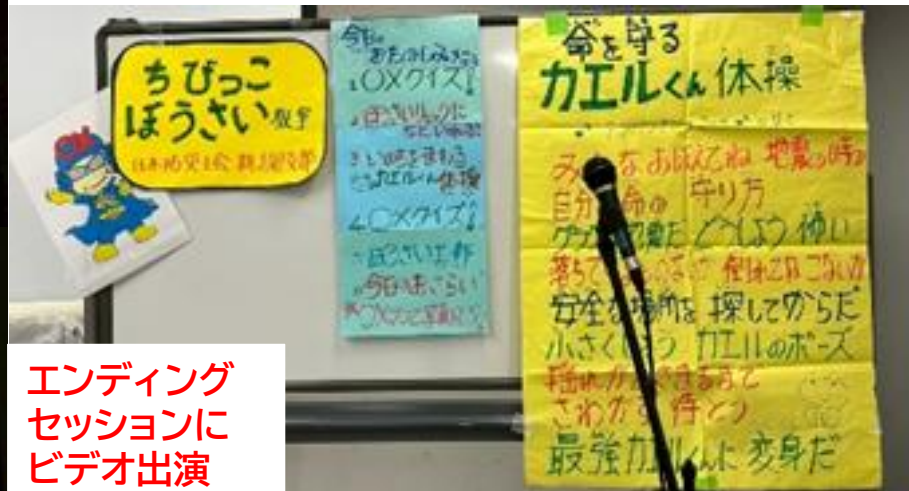
熱い思い！

# 怪しい人ではありません！日本防災士会・新潟県支部 の『防災〇×マン』です。 2025年4月17日 B S N放送「防災なび」より



# ワークショップ「ぼうさいO×マンと遊ぼう！」

## ～楽しく防災を学ぶ ちびっこぼうさい教室～



エンディング  
セッションに  
ビデオ出演

2025年9月6日(土)10:30～12:00 会場 ときメッセ

ぼうさいこくたい ちびっこぼうさい教室  
ぼうさいO×マンとあそぼう！

わたしのクイズがわかるかな！  
やくにたつ工作をするよ！  
いのちをまもるカエルくん体操を  
しよう！



ぼうさい〇×マン

祝全国進出!!

# 日本防災士機構セッション

## 「中越から学ぶ 能登の復興と震災伝承」

能登半島地震での新潟市西区のボランティアセンター支援を発表  
新潟県支部による組織的な協働について

# 災害VC運営支援 ～防災士活動の「新潟モデル」～



日本防災士会  
新潟県支部

# 新潟市西区災害ボランティアセンター 運営の支援者として組織的に活動



# ボランティアの語源

ラテン語のウォランタス

“Voluntas”（自由意志）

フランス語のボランティ

“Volunte”（喜びの精神）

英語の動詞では

“Volunteer”（自発的に）



ボランティアとは「内面から湧き上がる思いによって行動する人」という意味で一人ひとりの自由な意思を大事にする理念が込められています。

（社会福祉協議会「ボランティアの心得から」）





**「AI」が世界を変えても  
変わらないものがある。**

それは、**「人のやさしい心」と「人の手」。**

私は、そう信じています。

アイシテイル  
ニイガタ

新潟最高！

郷土を愛する気持ちが  
ボランティア活動への原動力



# 「にいがた防災交流プラットフォーム」 への期待する役割

- 点と点が結びついて「線」に
- 「防災」を通じて新たな交流の輪に
- 「交流のご縁」がにいがたの調和に
- 「にいがた」の地域防災力の向上に